

競馬事業の現状

販売（発売）額の状況

平成17年度は計画発売額29億9千6百万円に対し29億6千6百万円（前年比93%、計画比99%）にとどまり、18年度8月末現在までの発売は前年比94%、計画比87%と大変厳しい状況です。

これまでの債務の状況

岩手競馬の長期的な発売額の減少や盛岡競馬場整備などの設備投資負担から、累積赤字は17年度末で13億7千万円、また、盛岡競馬場整備などのために借り入れた17年度末の長期借入金（起債）残高は15億3千万円となっています。合計29億9千万円の返済と年間6億円に及ぶ支払



本年度の開幕式（水沢競馬場）

い利息は、競馬事業改革の大きな負担になっています。当面、発売の大幅な拡大は期待できないことから、現状のまま推移すれば資金収支不足により競馬事業を継続することは

新しい改革計画のポイント

構成団体への支援要請

競馬組合は、現在の財務構造と発売額の動向などを勘案し、抜本的な手当てをしなければ存続は難しいと判断しました。そこで競馬存続の基準を設定することを条件に、構成団体に対して長期起債および累積債務相当額の融資を要請しています。

競馬組合では、構成団体からの融資額全額を金融機関への返済に当て、経常収支から支払ってきた借入金とその利息の支払いを軽減し、改革に弾みをつけようとするものです。

構成団体からの融資支援効果

構成団体からの融資により、支払い利息については現在年約6億円であるものが約1億円程

困難な状況になります。

競馬事業廃止の影響

仮に競馬事業を廃止した場合、債務や廃止に伴う費用は現段階の試算で3億7千2百万円となり、県・市の財政を直撃するのみならず、雇用機会の喪失や県内に類を見ない莫大な経済効果を失うこととなります。

度に軽減されます。

構成団体への元金返償は、競馬組合の単年度収支の黒字化した分から行うため、弾力的な財務運営が可能になります。

構成団体の融資割合と条件

競馬組合からの要請は岩手県、盛岡市、本市に対して総額約3億3千万円です。融資割合は、今後構成団体が協議してそれぞれの融資額を定めます。また、償還期限など融資に伴う諸条件は今後協議していくものです。

■融資検討対象額約3億3千万円の内訳

金融機関などからの借入金2億9千5百万円、繰上償還補償金5億円、土地信託精算金7億円、不足資金3億円、資産売却保留18



たくましく美しいサラブレッドの走り

億円、設備費2億円。

融資に当たっての留意点

岩手県に比べて財政規模の小さい盛岡市と本市の融資は、行財政運営に大きな支障を生じさせないことが条件です。両市が自己資金で賄えない額については、県が両市へ必要額を貸付することになっています。

競馬事業存廃の基準

今後、競馬事業を継続していくためには、少なくとも競馬事業自体の収入で費用を賄える収支構造に転換することとし、「競馬事業存廃の基準」を定めました。この基準の主な内容は、退路を断ち、競馬組合と競馬関係者が一体となって収支均衡を実現していく仕組みを構築する

競馬事業存廃の基準

- ①各年度において、年度を通じて経常損益で黒字又は収支均衡とすること。
- ②各年度の事業計画立案時において、次年度の経常損益の収支均衡を達成する見込みがないようであれば廃止する。
- ③当該年度を通じて、経常損益で黒字又は収支均衡とならない見込みの時は年度途中でも廃止する。

ものです。

これは、19年度から適用し、構成団体の長の協議により事業継続の可否を決定します。

事業継続のための調整機関の設置

- 1 競馬事業の振興を図るため競馬組合、構成団体および競馬関係者（馬主会、調騎会、厩務員会）で構成する（仮称）岩手県競馬組合運営協議会を設置します。
- 2 （仮称）岩手県競馬組合運営協議会において、年2回半期ごとに収支状況を検証し、収支均衡を図るための調整を実施します。調整が整わない時は存廃基準により廃止します。

競馬事業運営がこれから目指すもの

1 経営指標に基づく健全経営の取り組み

競馬事業から得られる事業収益を「競走関係費」「事業運営費」「財務経費」に配分し、経営指標に基づいた経営管理を行うことで発売額に見合った「コンパクトな競馬」の事業運営とします。

2 ファン層の拡大による事業収入の確保

グループや団体が競馬に参加しやすくなるサービスの充実と、こうした取り組みを通じた既存ファンの確保と新規ファンの拡大などにより事業収入を確保します。

3 発売形態の見直しによる事業収入の確保

それぞれ収益や必要な経費の異なる、自場発売、広域委託発売、広域受託発売について、最適な組み合わせの発売形態を構築し事業収入を確保します。

このように岩手県競馬組合では、競馬事業の目的実現のため、再生に向けた取り組みを進めています。新しい改革計画により岩手競馬が再建されるよう、構成団体、全ての競馬関係者が一体となって改革を推進します。

■問い合わせ 総合政策部企画調整課競馬対策室（内線411・421）、岩手県競馬組合（☎019・626・7711）